

俳句部門 1句単独の部

【最優秀】

薄明をさます鳴き声初鯨 木下 侑

【優秀】

かき氷かなしき色をしてをりぬ 島田 道峻

春陰の頭痛ブルーライトの棘 宮崎 瑛

【佳作】

可惜夜の線香花火まだ落ちず 安藤 俊介

アラームの鳴る間に昇る初日の出 石川 新之助

シーソーのペンキ塗り立て春暑し 石崎 成人

地下鉄に月ちひさくて墓参 田村 典

風車ため息の言い訳をする 富田 真綾

草いきれ学校の端を今知った 諸澤 佳歩

真夏日や海の底まで泳ぎたき 山本 愛奈